

平成27年度第1回紀の川市地域公共交通会議議案

平成27年6月12日

議案第 1 号

平成 2 6 年度事業報告について

- 平成 2 6 年度紀の川市地域公共交通確保維持改善事業実施報告について

別添「資料 1」のとおり

- 平成 2 6 年度紀の川市地域巡回バス利用実績及び市運行補助金の支出状況について

別添「資料 1」のとおり

平成 2 7 年 6 月 1 2 日提出

議案第 2 号

平成 26 年度紀の川市地域公共交通会議会計歳入歳出決算について

平成 26 年度紀の川市地域公共交通会議会計歳入歳出決算について、次のとおり報告し、承認を求める。

自：平成 26 年 4 月 1 日

至：平成 27 年 3 月 31 日

【歳入の部】

(単位：円)

科目	予 算 額		歳入済額	説 明
	当初予算額	予算現額		
負担金	0	0	0	
補助金	0	0	0	
繰越金	1,000	1,000	1,102	前年度繰越金
雑収入	1,000	1,000	0	
計	2,000	2,000	1,102	

【歳出の部】

(単位：円)

科目	予 算 額			歳出済額	説 明
	当初予算額	流用額	予算現額		
会議費	0	0	0	0	
事務費	0	0	0	0	
事業費	0	0	0	0	
予備費	2,000	0	2,000	0	
計	2,000	0	2,000	0	

歳入済額 歳出済額 差引残額
1,102 円 - 0 円 = 1,102 円
差引残額 1,102 円は、平成 27 年度へ繰り越すこととする。

平成 27 年 6 月 12 日提出

平成26年度

紀の川市地域公共交通会議会計歳入歳出決算監査報告書

平成26年度紀の川市地域公共交通会議会計歳入歳出決算について、諸帳簿ならびに証拠書類を監査したところ、適正であったことを認めます。

平成27年5月15日


紀の川市地域公共交通会議

会長 紀の川市副市長 田村 武 様

監査委員

鈴木孝彦 

監査委員

森脇澄男 

議案第 3 号

平成 27 年度事業計画（案）について

■地域公共交通確保維持改善事業に基づく「地域内フィーダー系統確保維持計画」の策定について

別添「資料 2」のとおり

平成 27 年 6 月 12 日提出

議案第4号

平成27年度紀の川市地域公共交通会議会計歳入歳出予算（案）について

平成27年度歳入歳出予算は次に定めるところによる。

【歳入の部】

(単位：千円)

科 目	予 算 額		比 較	説 明
	本年度予算額	前年度予算額		
負担金	0	0	0	
補助金	0	0	0	
繰越金	1	1	0	前年度繰越金
雑収入	0	1	△1	預金利子
計	1	2	△1	

【歳出の部】

(単位：千円)

科 目	予 算 額		比 較	説 明
	本年度予算額	前年度予算額		
会議費	0	0	0	
事務費	0	0	0	
事業費	0	0	0	
予備費	1	2	△1	
計	1	2	△1	

平成27年6月12日提出

概要

紀の川市地域巡回バス



【運行主体】紀の川市

【運行日数】362日

【運行事業者】

- ・和歌山バス那賀株式会社
(粉河那賀・桃山路線)
- ・有田交通株式会社
(貴志川路線)

【路線状況】粉河那賀路線（上名手打田・川原竜門・打田北部）
桃山路線（細野貴志川・桃山鞆淵・黒土高野）
貴志川路線（東貴志丸栖・西貴志）

平成26年度紀の川市地域巡回バス利用実績及び市運行補助金の支出状況

【地域巡回バス利用実績】

路線名称	利用実績(H25)	利用実績(H26)	前年比(%)
粉河那賀路線	16,735人	14,858人	△11.2%
桃山路線	13,967人	14,352人	+2.8%
貴志川路線	8,324人	8,321人	0.0%
合計	39,023人	37,534人	△3.8%

【市運行補助金の支出状況】

区分		路線名	金額(円)
歳出	運行経費	粉河那賀・桃山路線	46,000,000
		貴志川路線	11,352,429
	歳出合計		57,352,429
歳入	運賃収入	粉河那賀・桃山路線	1,819,613
		貴志川路線	559,360
	国庫補助金	粉河那賀・桃山路線	23,690,000
	歳入合計		26,068,973
市補助金			31,283,456

目的、計画、目標(Plan)

事業名：地域公共交通確保維持改善事業

【事業の目的・目標】

- 高齢者等の交通弱者の日常的な移動手段の確保、公共交通空白地域の解消
- 安定した路線維持、サービス供給が行えるよう、目標とする1便あたりの平均利用者数を設定

【事業の計画】

- 定時定路線による年間362日の運行
- 利便性の向上を図るため、平成26年4月からの路線・ダイヤ改正を実施

ネットワーク計画等の取組み(Do)

- 平成26年3月：利便性の向上を図るため、主要施設に路線案内板を設置
- 平成26年4月：路線・ダイヤ改正実施
(市役所新庁舎を発着の起点に変更、地元要望等の反映を実施)
- 広報紙、facebookを活用した利用啓発を随時実施

実施状況、目標の達成(Check)

- 計画どおり年間362日の運行を実施
- 山間部を含めたきめ細かな路線設定により、市内公共交通空白地域の解消に努めた
- 一便あたりの目標利用者数と実績は以下のとおり

コース名称	運行便数	H26目標	H26実績	結果
上名手打田コース	7便/日	3.7人/便	3.4人/便	目標未達成
川原竜門コース	7便/日	2.3人/便	2.3人/便	目標達成
打田北部コース	3便/日	1.3人/便	1.7人/便	目標達成
細野貴志川コース	8便/日	2.2人/便	1.8人/便	目標未達成
桃山鞆淵コース	8便/日	3.1人/便	2.8人/便	目標未達成
黒土高野コース	6便/日	1.2人/便	0.6人/便	目標未達成

今後の課題、対応(Action)

- 年々、利用者数が減少傾向にあるため、利用促進の取組みを強化し、利用者確保に努める
- 採算性及び利便性の向上を図るため、デマンド方式の導入についての検討
- 平成26年4月の路線・ダイヤ改正の検証を進め、改善点の次期計画への反映

平成28年度紀の川市地域内フィーダー系統確保維持計画

(地域公共交通確保維持改善事業)

資料2

補助金交付要綱改正(平成28年度申請)

1回当たりの運送量が1人未満の系統は補助対象外。
 ※系統…申請する単位。昨年度までは、10系統を申請。(粉河那賀路線:5系統、桃山路線:5系統)

申請系統のH26年度実績値

- i H26年度実績値を見ると、1人未満の系統がある。(桃山路線:2系統)
- ii H26年度実績値では、1人以上だが、毎年度減少傾向にある1.5人未満の系統がある。(粉河那賀路線:2系統、桃山路線:1系統)

申請系統の最新の状況

- ・H26.10～H27.3月実績値の確認
 上記状況は継続しており、iiの系統が1人未満になる可能性がある。
- ・補助金額への影響等を確認し、i、iiに該当する5系統の申請からの除外を検討。

補助金等への影響を確認

補助金額への影響を検討
 補助金額は上限に達しており、系統を除外しても、影響は無い。また、現在受けていない補助(車両補助)等への影響も無い。

**平成28年度は
5系統に減少し、申請を行う**

事業の目的、計画

- 【事業の目的】 ○高齢者等の交通弱者の日常的な移動手段の確保、公共交通空白地域の解消。
- 【事業の計画】 ○定時定路線による年間362日の運行。

事業の目標・効果

【事業の目標】

路線名	利用者数(H25)	1日あたり(H25)	利用者数(H26)	1日あたり(H26)
粉河那賀路線	13,348人	36.9人/日	12,286人	33.9人/日
桃山路線	10,979人	30.3人/日	11,153人	30.8人/日
合計	24,327人	67.2人/日	23,439人	64.7人/日

○目標の設定

粉河路線は人口が増加している打田地区を運行しているため、需要の増加は見込めるが、上記比較では、減少しているため、現状維持で設定。

桃山路線は山間部を中心としているので、大幅な利用者の増加は見込めないが、ダイヤ改正により、増加傾向にあるため、1日あたりの利用者数を毎年度0.5人増加で設定。

路線名	利用者数(H27)	1日あたり(H27)	利用者数(H28)	1日あたり(H28)
粉河那賀路線	12,286人	33.9人/日	12,329人	33.9人/日
桃山路線	11,331人	31.3人/日	11,543人	31.8人/日
合計	23,617人	65.2人/日	23,872人	65.7人/日

路線名	利用者数(H29)	1日あたり(H29)	利用者数(H30)	1日あたり(H30)
粉河那賀路線	12,286人	33.9人/日	12,286人	33.9人/日
桃山路線	11,692人	32.3人/日	11,873人	32.8人/日
合計	23,978人	66.2人/日	24,159人	66.7人/日

※運行日数は平成28年度のみ363日(閏年)、他の年度は362日で設定。

【事業の効果】

- 公共交通空白地域の解消。高齢者等の日常生活(通院・買い物)に必要な移動手段の確保。
- 他の路線バスや駅への接続により、広域的な公共交通ネットワークの形成。